

山形県、(株)クボタ及び(株)南東北クボタとの農業DXに係る包括連携協定の概要

令和8年9月7日
農 林 水 産 部

趣旨・目的

山形県、株式会社クボタ及び株式会社南東北クボタは、農業DXを通して、地域農業が抱える課題の解決を図り、本県農業の持続的な発展の実現に向けて包括的に連携して取り組みます。

背景・課題

- ・担い手へ農地が集まり経営規模が急速に拡大
- ・技術・ノウハウの継承、担い手育成が急務
- ・温暖化に対応した農作物の生育管理方法の確立が必要
- ・環境負荷の低減に資する技術導入が不可欠

目指す姿（期待する効果）

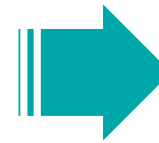
生産性の向上
農地集約・大規模
経営を支える作業
の効率化・省力化



環境へ対応した農業
高温対策や肥料等
のコスト削減を
データx農機で対応



担い手の育成
スマート農業技術で
高精度な作業管理が
可能な人材の拡大



山形県農業の
持続的発展を実現

3者が連携することで、農業DXを加速させ、目指す姿の実現を図る

主な 協定項目

- 農業機械、営農支援システム等を活用した生産性向上と新技術の研究開発
- 農業データの利活用とデータ連携基盤の構築
- スマート農業技術の実証及び普及
- 農業DXに係る人材育成、研修 など

締結日：令和8年9月7日、協定期間：3年間（1年毎更新）

包括連携 協定の 概要・役割



山形県

- ・県内関係機関、農業者、関係団体等との調整
- ・実証フィールドの設置
- ・新規技術の研究開発への協力
- ・新技術の導入支援及び情報発信 など



株式会社クボタ

- ・農業DXに資する技術の研究開発
- ・KSAS(※)等のサービス及びノウハウの提供
- ・データ活用の支援 など

※ KSAS（ケース）：クボタが提供する営農支援システム「クボタスマートアグリシステム」の略称



株式会社南東北クボタ

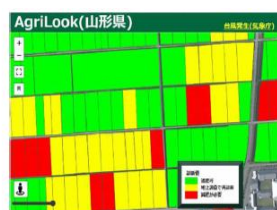
- ・現地研修会の企画・実施支援
- ・技術的助言
- ・現地実証の運営支援や普及推進への協力 など

連携して 取り組む 主な事項

1

KSASを起点とした新技術の 研究開発

- ・衛星データ等を活用した農作業の自動化に寄与するスマート農業技術の研究開発
- ・衛星データ等を活用した水稻品種「つや姫」「雪若丸」等の生産管理技術情報の提供



衛星データ等を活用した「つや姫」生産管理技術



2

スマート農業技術の 実証・普及

- ・スマート農業技術（自動運転トラクタ、直進アシスト田植機、食味収量コンバイン等）の実証
- ・技術導入効果の情報発信
- ・優良事例の紹介



自動運転トラクタ



直進アシスト田植機

3

農業DXに係る研修会等

- ・農業DXの基礎研修
- ・農業DXに係る人材育成
- ・新規就農者向けの技術研修



研修会の開催